



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第4号
令和4年2月17日

第4回学校運営協議会は新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、書面開催となりました。各委員より意見が寄せられました。

□ 今年度の学校運営について

12月に実施した学校評価の結果等を参考に、今年度の学校運営について、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「信頼される学校」の4項目を5段階(5:十分達成できた～1:全くできなかった)で評価しました。

項目 評価平均	主な意見
確かな学力 4. 4	<ul style="list-style-type: none">生徒の87%が「授業がわかりやすい」と回答しており、素晴らしいと思った。「わかる」「できる」授業のために工夫されているのが伝わってきた。先生がモニターやタッチパネルを活用するなど工夫して授業を行っている。生徒もICT活用などで学ぶ方法が変わってきたので、教科で成果と課題を探し、よりよい授業を目指してほしい。保護者、生徒ともに、「家庭学習の習慣が身についている」や「わからないことは進んで調べる」の項目にばらつきが出ているのが気になる。生徒の学習意欲が高まるような掲示物の工夫がされている。
豊かな心 4. 6	<ul style="list-style-type: none">教職員と生徒が人間的に対等に向き合っているところが良いと思う。コロナ禍で学校への来訪者が減っていると思うが、来訪者に対して生徒から挨拶してくれるのが嬉しい。地域のイベントに、もう少し積極的に関われるようにできるとよい。学校の雰囲気がよく、保護者の学校評価でも「子どもの心」に関する項目に肯定的な回答が出ていることから、学校運営が順調であることがうかがえる。校内に限らず道で出会ったときにも、時と場に応じた挨拶が自然にできるのが素晴らしい。
健やかな体 4. 3	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍で存分に活動に取り組みせず、生徒は心と体のバランスを崩していないかと心配している。先生方も今までと異なる取組や対応に追われて疲れているのではないか。運動を促進する掲示物等が校内に貼ってあり、健康や安全に対する生徒の主体的な活動を促す学校の姿勢がうかがえた。身体を思い切り動かす機会が減っていると思われるので、体力低下が懸念される。引き続き、安全面に配慮しながらの体力づくりを進めてほしい。生徒の中で、悩みや困ったことを先生に相談できないケースもみられるようである。
信頼される学校 4. 7	<ul style="list-style-type: none">学校だよりの発行やHP等で、保護者にしっかりと学校の経営や状況を伝えていると感じた。今後、生徒が配付物を保護者に見せることを徹底することで、さらに保護者の理解度が上昇するのではないか。学校だよりなど各種たよりで学校の様子やコロナ対応について知ることができる。地域はコロナ禍でなければ四中生ボランティアに期待されていると思う。先輩たちの活躍したボランティア活動を伝え、今後につなげてほしい。

<委員からの学校への意見>

- コロナ禍での学校運営は普段にも増して大変なことで推察される。制限の多い中、工夫を凝らした教育活動が行われていた。先生方の日々のご努力、また、生徒たちの姿勢に敬意を表したい。
- 来校すると学校内は落ち着いていて、生徒の表情はマスクで見にくいですが、目が生き生きしていると感じる。学校全体も生き生きとし、明るく活発になった。
- 掲示物や2階の花壇、わかりやすい学校だより、教室のICT機器を使った授業など、生徒にとって良い環境を提供していると思う。また、大人が範を示そうという体制があり、トイレの掲示物等にも工夫を凝らしていて感心した。今後とも継承と発展を期待している。
- 会話が減っている世の中なので、保護者と学校、生徒と教職員等の対話の機会を意識的に増やし、一人ひとりの悩みや変化をとらえる工夫を今後も増やしてほしいと願う。